

都市再生整備計画 事後評価シート
関内・関外周辺地区

平成26年3月

神奈川県横浜市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県	市町村名	横浜市	地区名	関内・関外周辺地区			面積	600ha
交付期間	平成21年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	2,360百万円	国費率	0.4		

				事業名			
		基幹事業	提案事業	事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業		【道路】市道山手元町線(電線共同溝整備)、関内駅北口駅前(伊勢佐木町82号線)【公園】横浜公園、港の見える丘公園、【地域生活基盤施設】関内・関外地区案内サイン整備、【高質空間形成施設】中区山手町山手通り			
		提案事業		【地域創造支援事業】ストロングビル外観復元工事・初黄・日ノ出地区京急高架下活用【まちづくり活動推進事業】初黄・日ノ出地区エリアマネジメント			
	当初計画から削除した事業	基幹事業		【道路】関内駅北口駅前(伊勢佐木町82号線)	関内・関外活性化推進計画の策定に伴い、事業の再検討が必要になったため。	影響なし	
				【地域生活基盤施設】関内・関外地区案内サイン整備	関内・関外活性化推進計画の策定に伴い、関内駅舎整備とのスケジュールの調整が必要となったため。	影響なし	
				【道路】一般県道弥生台桜木町歩行者環境整備	社会資本総合整備計画(市街地整備)での執行に変更したため。	影響なし	
				【公園】港の見える丘公園	関係機関との協議不調に伴い、計画期間内の事業着手が見込めなため。	影響なし	
		提案事業		なし	—	—	
		新たに追加した事業	基幹事業		【道路】一般県道弥生台桜木町歩行者環境整備	地元説明に時間を要し、新規事業としての決定が21年度になったため。	影響なし
					【公園】本牧十二天緑地	より一層のにぎわいの創出や回遊性の向上、地域の活性化を促進するため、本牧十二天などの歴史的観光資源も点在する区域を拡大した。	影響なし
					【公園】大通公園	一体的なまちづくりを推進し、賑わいの創出、回遊性の向上を図るため、関連事業から移行した。	影響なし
				【公園】港の見える丘公園(拡張)	横浜市民の緑化活動や交流の拠点となる「みどり広場」として整備するとともに、山手地区一帯の観光拠点機能を持った広場として整備するため。	影響なし	
				【高質空間形成施設】関内駅北口駅前(マリナード地下街)	関内・関外活性化推進計画の策定に伴い事業を追加した。市民意見募集でもバリアフリー等関内駅の整備に関する意見が多数寄せられた。	影響なし	
				【高質空間形成施設】市道万国橋通第7006号	関内・関外活性化推進計画の策定に伴い事業を追加した。市民意見募集でも回遊性の強化、ガス灯の整備に関する意見が多数寄せられた。	影響なし	
	提案事業		【地域創造支援事業】カトリック横浜司教館別館外観改修	歴史を活かしたまちづくり要綱に基づく取組。「関内・関外地区活性化推進計画」策定に伴う市民意見募集の結果を反映した。	影響なし		
			【地域創造支援事業】綜通横浜ビル外観改修	歴史を活かしたまちづくり要綱に基づく取組。「関内・関外地区活性化推進計画」策定に伴う市民意見募集の結果を反映した。	影響なし		
			【事業活用調査】歩行者環境整備検討	関内・関外活性化推進計画の策定に伴い、当初予定していた整備計画の再検討を行うこととなったため。	影響なし		
	交付期間の変更	当初	平成21年度～平成25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	なし		
	変更	—					

	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	駅乗降者数	人/日	(参考値: 458,000) H19 509,000	(参考値: 480,000) H25 533,000		534,438 (推計)	○	あり なし	- -	駅の乗降者数は増加傾向にあるが、直近のデータでは目標の達成に至っていない。しかし、乗降者数が増加しているということは、来街者が増えているということであり、当外地区の活性化が進んだと考えられる。ただし、本指標は計画外事業の影響も受けやすい。また、一部計算間違いがあったため、従前値及び目標値を再計算した。	平成27年8月	
	指標2	山手の公開西洋館の入館者数	人/年	726,864 H19	750,000 H25		921,769	○	あり なし	- -	山手地区は、異国情緒あふれる街並みが地区の魅力となっている。歩道の整備等により歩行環境が改善されるとともに、当該地域の魅力向上につながった。ただし本指標は、西洋館でのイベントの開催状況など計画外事業の影響も受けやすい。	平成26年8月	
	指標3	初黄地区小規模営業店舗再利用件数	件	73 H19	100 H25		145	○	あり なし	- -	初黄地区は、安全・安心なまちに実現に向けて店舗の借り上げを進め、街の再生を進めている。地区内の高架下の活用や街の再生に向けたエリアマネジメントを検討・実施することで、住民の意識が向上するとともに、地域の活性化が進み指標を達成することができた。	-	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の数値指標1	黄金町バザール来場者数	人/年	10,000 H21				20,760				まちの取組を多くの人に知ってもらうことにより、地区内のイベントの来場者数の増加に貢献したと考えられる。	-
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内で定期的なイベント等が開催されるようになり、賑わいに寄与している。 ・地区内の整備を進めたことにより、来街者の安全確保につながっていると、よりよい街並み景観を創出した。 												
5) 実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	当該地区の持続的な活性化を図ることを目的とした「関内・関外地区活性化推進計画」策定時の市民意見募集の結果や、都心部の賑わいづくり・あり方に関する市民アンケートの結果を踏まえ、事業の検討を行った。 ・関内・関外地区活性化推進計画策定に伴う市民意見募集、ヨコハマアンケート「横浜都心部における横浜ならではの賑わいづくりに関するアンケート」、ヨコハマアンケート「これからの横浜都心部のあり方に関するアンケート」			都市再生整備計画に記載し、実施できた				今後もアンケート等を活用し、市民の声を反映したまちづくりを進めていく。				
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
住民参加プロセス	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた								
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
持続的なまちづくり体制の構築	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた								
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

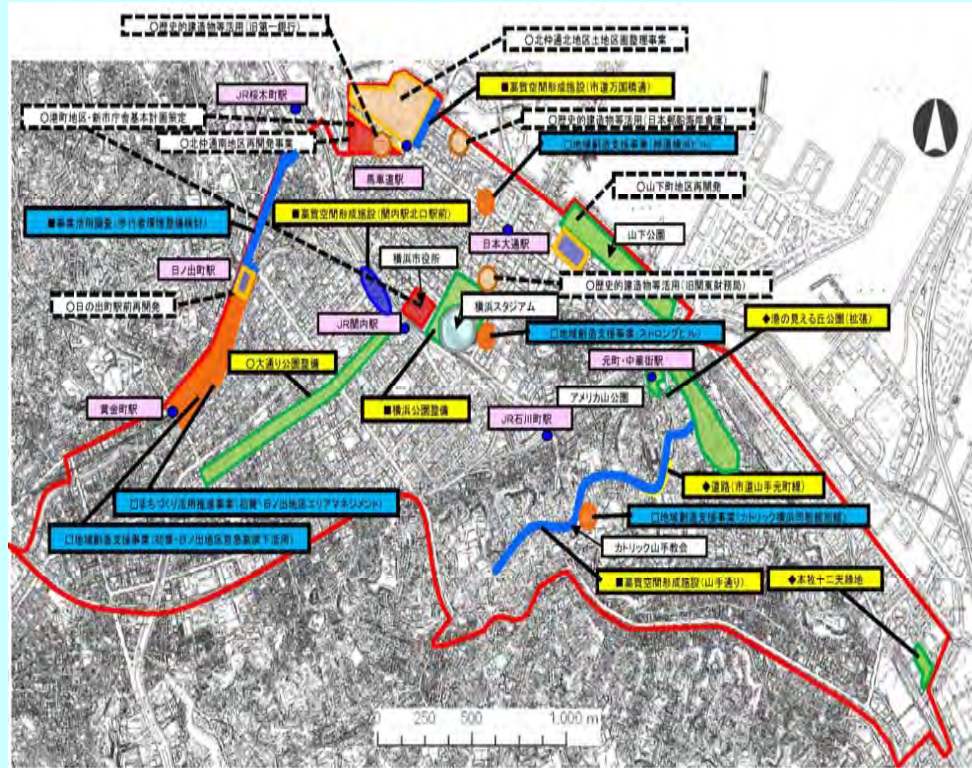
関内・関外周辺地区(神奈川県横浜市) まちづくり交付金の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
新市庁舎整備を核として、都心機能・都市基盤の再整備、歴史的資源の活用による観光振興などにより、にぎわいの創出や回遊性の向上を図り、関内・関外周辺地区の活性化を促進する。	駅乗降者数	単位:人/日	(参考値:458,000) 509,000	H19	(参考値:480,000) 533,000	H25	534,438(推計)	H25
	山手の公開西洋館の入館者数	単位:人/年	726,864	H19	750,000	H25	921,769	H24
	初黄地区小規模営業店舗再利用件数	単位:件数	73	H19	100	H25	145	H25



大通公園整備



高質空間形成施設(市道万国橋)



横浜公園整備

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 課題1: 業務や商業における事務所数・従業者数の減少→関内関外活性化計画の取組みにより、商業立地するこの地区のインフラ改善やまちの魅力アップにつながった。しかし、厳しい経済情勢により、抜本的な改善はみられていない。企業にとって進出意欲を高めてもらうため、関内・関外周辺地区全体として、引き続きまちの魅力を高める取組みを進める必要がある。 課題2: 関内駅を中心とした一体感のある駅前空間が未整備→基幹事業であるマリナード地下街の整備に、別事業で行っている関内駅の改良事業(バリアフリー工事、駅前空間整備)を併せることで、駅を中心とした一体感のある駅前空間の整備の目標が達成されることになる。 課題3: 歩きやすい歩行者環境整備が不十分→山手地区、万国橋通り、桜木町駅及び日ノ出町駅間の歩道の整備を進め、歩行環境の改善が図られた。しかしこの地区は、商店街を多く抱え、歩道の整備だけでは不十分であり、違法駐輪や看板の張り出しなどにより、歩きづらい状況も残っており、その対策が必要である。 課題4: 初黄地区における元違法風俗店舗の存在→治安維持向上のため、小規模店舗の借上げを進め、転用数145件達成。治安については引き続き予断を許さない状況なので、警察などと連携し、さらなる治安維持強化策が必要である。 課題5: 老朽化したビルが多く存在→老朽化した歴史的建造物の外観復元工事を行った。地区内にはまだ老朽化したビルが多く残っており、建替え支援など別事業により、引き続き対策が必要である。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 関内・関外地区の活性化に向けて、ハード整備に加え、公共空間の利活用などのソフト事業を充実することにより、更なる地区の活性化を図る。 引き続き関内駅北口周辺整備や歩行者環境の改善に取り組むとともに、回遊性の強化に向けた整備等を新市庁舎整備と連携して、エリア全体の活性化につながる取組みを進める。

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
関内・関外周辺地区

平成28年3月

神奈川県横浜市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	駅乗降者数	人/日	(参考値: 458,000) 509,000	(参考値: 480,000) 533,000	534,438 (推計)	確定 見込み	○	あり なし	● -	542,377	H27年8月	●	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	乗降者数が増加しているということは、来街者が増えているということであり、当該地区の活性化が進んだと考えられる。
指標2	山手の公開西洋館の入館者数	人/年	726,864	750,000	921,769	確定 見込み	○	あり なし	● -	1,033,592	H26年9月	●	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	山手地区は、異国情緒あふれる街並みが地区の魅力となっており、歩道の整備等により、歩行環境が改善されるとともに、当該地域の魅力向上につながった。
指標3	初黄地区小規模営業店舗再利用件数	件	73	100	145	確定 見込み	○	あり なし	● -		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	初黄地区は、安全・安心なまちの実現に向けて、店舗の借上げを進め、街の再生を推進している。地区内の高架下の活用や、まちの再生に向けたエリアマネジメントを検討・実施することで、住民の意識が向上するとともに、地域の活性化が進み、指標を達成することができた。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	黄金町バザール来場者数	人/年	10000	20760	確定 見込み	●					H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	本指標の達成は、当該イベントを主催するNPOや地元組織など関係者全体の成果であるが、事業実施によりまちの取組を多くの人に知ってもらうことで、地区内のイベントの来場者数の増加に貢献したと考えられる。
その他の数値指標2					確定 見込み						H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み						H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	公共空間の利活用など、ソフト事業の推進	関内・関外地区の水辺空間において、賑わいの創出や魅力ある街づくりを進めるため、河川や内港地区を活用した水上交通の社会実験実施。	県、市、地元運営組織(一般社団法人)の協働により、河川棧橋の新たな運営方法を試行することとなった。	現在、運行事業者の公募を行っている。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	関内駅北口周辺整備や歩行者環境の改善、回遊性の強化に向けた整備等を進める。	関内駅北口のJRによるバリアフリー化等駅舎改良にあわせ北口周辺の歩行者環境改善に向けた整備を進めるとともに、JR桜木町駅から、北仲南地区へ通じる歩行者専用デッキの整備に向けた調整を進めている。	推進中	

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(清算報告)

かない・かんがい
関内・関外周辺地区

かながわ 神奈川県 よこはまし 横浜市

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	横浜市	地区名	関内・関外周辺地区	面積	600 ha
計画期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度				

目標
新市庁舎整備を核として、都心機能・都市基盤の再整備、歴史的資源の活用による観光振興などにより、にぎわいの創出や回遊性の向上を図り、関内・関外周辺地区の活性化を促進する。

目標設定の根拠
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>関内・関外周辺地区は、開港以来横浜の中心地として発展を担ってきた地区であり、県庁、市役所などの官公庁施設、企業の本社、支社が立地する都心地区、そして、全国的に知名度の高い元町や中華街、馬車道などの商業地区が形成されています。同時に、歴史的建造物が点在するなど歴史・文化を生かした魅力ある景観が形成されている観光地区でもあります。しかしながら、近年、横浜駅周辺やみなとみらい21地区における整備の促進により、企業の地区外への移転が増加するなど地区のにぎわいが低下しつつあります。さらに、本市では新市庁舎整備を検討しており、今後の関内・関外地区の街づくりは新市庁舎整備と一体的にすすめていく必要があります。</p> <p>平成20年作成の「横浜都心部ランドデザイン」にて示した関内・関外地区の目指すべき方向、ならびに豊富な観光資源、横浜を象徴する景観をもつ山手地区の維持・発展に向け、都心機能・都市基盤の再整備、歴史的資源の活用による観光振興、にぎわいの創出や回遊性の向上による活性化を促進することが求められています。</p> <p>○参考：第1期事後評価「今後のまちづくりの方策」</p> <p>だれもが移動しやすい歩行者環境とネットワークの構築を図るため、歩行者空間のバリアフリー化や自転車と歩行者の分離に対する取組が必要である。</p> <p>また地区内の重要な観光資源である歴史的な建造物、港、公園を活用するための取組として、観光客に対する利便性や快適性の向上のための案内サインの更なる充実や、沿道環境の改善と合わせ、観光資源を維持していくための取組として歴史的建造物の保存活動への助成なども検討していく。更に点在する観光資源相互の連携に対する取組も必要である。</p> <p>また、文化芸術活動により都市機能の多様化を図り、都心部の活性化を実現させる取組として、活動拠点整備のための建物改修やバリアフリー対策等に対する助成事業についても検討していく。</p>

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・業務や商業における事務所数・従業者数の減少 ・関内駅を中心とした一体感のある駅前空間が未整備 ・歩きやすい歩行者環境整備が不十分 ・初黄地区における元違法風俗店舗の存在 ・老朽化したビルが多く存在
将来ビジョン(中長期)
<p>○関内地区は、横浜開港の歴史と都心の最初の核として今後も発展していくことを目指す。</p> <p>特に、「行政機能」、「教員、文化、芸術、スポーツ」、「特色ある専門店」、「歴史的建造物や街並み散策などの観光」の機能を向上させる。</p> <p>○関外地区は、多様性、大衆性のある横浜独自の生活文化を育んできた地区として、文化、業務の伝統を受け継ぎつつ、魅力的なまちを目指す。</p> <p>特に、「特色ある専門店」、「地域密着型商店」、「都市型住宅」の機能を向上させる。</p> <p>○山手地区は、開港以来の歴史的建造物など、景観資源も多く、横浜を代表する観光地区となっている。老朽化・機能低下した都市基盤施設を再整備しつつ、横浜らしい都市景観の維持・発展を目指す。</p>

目標を定量化する指標								
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度	
駅乗降者数	人/日	JR(関内、桜木町、石川町)、みなとみらい線(元町中華街、日本大通り、馬車道)、市営地下鉄(板東橋、伊勢佐木長者町、関内、桜木町)の1日平均乗車人員数の合計	都市基盤の整備や観光振興、にぎわいの創出により来街客数が増加する。	458千人/日	H19年度	480千人/日	H25年度	
山手の公開西洋館の入館者数	人/年	山手地区の洋館(ブラフ11番館、外交官の家、テニス発祥記念館、ペーリックホール、エリスマン邸、山手234番館、イギリス館、山手111番館)の年間入館者数の合計	山手本通り改修による、山手地区公開洋館の利用者数が増加する	726,864人/年	H19年度	750,000人/年	H25年度	
初黄地区小規模営業店舗再利用件	件数	小規模営業店舗の再利用転換数	地元、県警、行政の環境浄化の取組みにより、大半が現在閉鎖している初黄地区の旧違法小規模店舗の土地・建物の再利用をすすめ、新たににぎわいを創出する。	73件	H19年度	100件	H25年度	

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・人にやさしい歩行者空間整備 ・回遊性を高める歩行者ネットワーク整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・市道山手元町線電線共同溝整備(道路) ・山手通り歩道整備(高質空間形成) ・関内駅北口駅前(マリナード地下街) ・市道万国橋通第7006号
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的資源を生かした景観形成、観光振興 	<ul style="list-style-type: none"> ・ストロングビル外観復元工事(地域創造支援) ・カトリック横浜司教館別館外観改修(地域創造支援) ・綜通横浜ビル
<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化・機能低下した都市基盤施設の再整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜公園 ・本牧十二天緑地 ・大通り公園 ・港の見える丘公園(拡張)

その他

・違法風俗店の閉鎖による環境浄化、まちの再生を目指す「初黄・日ノ出町地区」において、京急高架下の利用、小規模店舗の転用・再生に向けた活用調査を実施する。
調査結果にもとに、新たな利用促進・活用を図り、同地区の新たなにぎわいを創出する。

